

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-246-7713

年度	令和4年度		
施設名	新潟市男女共同参画推進センター	所管部・課	市民生活部 男女共同参画課
施設の設置目的	男女共同参画推進センターは、新潟市男女共同参画推進条例に基づき、男女共同参画を推進する事業を実施するとともに、市民、事業者、市民団体の皆さんが取組む活動を支援する拠点施設です。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	R4.7.21
歳入		正職員	2	修正日	
歳出	10,737	会計年度任用職員	3	評価日	R5.8.4

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標					R4結果
1	市民		主催講座延参加者数(単位:人)	798	621	564	630	771	新型コロナウイルス感染拡大防止のため定員を減らして実施するため、同状況で実施したR2年度実績を目標とした。	・アルザにいがた主催講座の開催	秋以降はDVD上映会などの大きな声を出さない事業は定員を増やして実施したことなどにより、参加者数が増加した。	B:達成
2	市民	講座やフォーラムを開催することにより、市民の男女共同参画意識の向上を図ります。	アルザフォーラム延参加者数(単位:人)	1,063	969	898	970	957	新型コロナウイルス感染拡大防止のため定員を減らして実施するため、同状況で実施したR2年度実績を目標とした。	・アルザフォーラムの開催	基調講演は定員を超える申込みがあったが、ワークショップや分科会の参加者が少なかった。	C:未達成
3	市民		主催講座受講者の満足度(単位:%)	-	91.7	92.1	95.0	96.8	第4次新潟市男女共同参画行動計画の指標(R7年度末までに95%)を目標とした。	・アルザにいがた主催講座の開催	対象者のニーズを捉えた内容の企画に努め、目標を達成することができた。	A:達成(優)
4	市民	男女共同参画を推進するための拠点施設「男女共同参画推進センター アルザにいがた」の認知度を高め、利用促進を図ります。	アルザホームページ閲覧件数(単位:件)	-	32,491	43,286	45,450	43,314	前年度の5%増	・アルザホームページの適時更新	講座のチラシなどにアルザホームページの二次元コードを掲載するなどし、前年度よりアクセス数は僅かに上回ったが、目標を達成することはできなかった。	C:未達成
5	市民		アルザメール登録者数(単位:件)	464	531	597	626	734	前年度の5%増	・アルザメール登録者増加に向けた広報の実施	講座受講者や上映会参加者などにメール登録を呼びかけ、新規の登録者を増やし、目標を達成することができた。	A:達成(優)
6	業務	「男女共同参画推進センターアルザにいがた」の情報機能を強化します。	情報図書室貸出冊数(単位:冊)	-	7,897	9,296	9,760	10,854	前年度の5%増	・男女共同参画関連の図書をオンライン館で予約・貸出・返却	ニーズを捉えた男女共同参画に関する図書の選書や講座参加者などへの図書紹介によって、アルザの図書の貸出冊数が増えた。	A:達成(優)
7	人材	職員の研修参加により、人材育成を図ります。	年間研修参加回数(単位:回)	14	19	15	15	15		・男女共同参画等業務に関する研修に参加	オンラインによる研修に積極的に参加し、研鑽に励んだ。	B:達成

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
男女共同参画について市民意識の向上を図るとともに、男女共同参画を推進するための拠点施設である「アルザにいがた」の認知度をさらに高め、利用促進を図るために講座などを行い、参加者数や受講者の満足度などを目標設定しています。	主催講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を減らして実施していたが、オンライン講座の実施や秋以降、DVD上映会などの大きな声を出さない事業は定員を増やして実施したことなどにより、参加者数が令和元年度に近い人数となり、目標を達成することができた。講座の満足度については目標の95.0%を上回る高い満足度となった。令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行され、以前の定員に戻して実施できるようになったので、状況を見ながら定員を増やして実施していく。講座の企画・広報にあたっては、引き続き、男女共同参画について理解を深めてもらうという目的は維持しつつも、対象者のニーズを捉えた講座内容の企画・PRの工夫に努める。職員の人材育成については、職員各自がオンラインによる研修を受講し、研鑽に努め、講座の企画などに役立てることができた。引き続き、市民(企画委員・フォーラム実行委員)や関係団体と協働して、当事者の視点で市民ニーズを把握し、講座の満足度やアルザにいがた認知度向上に努める。